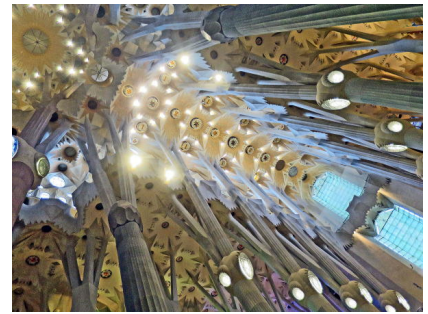


# 構造解析研究室



構造解析研究室に来てよかった点（研究室の学生から聞きました。）

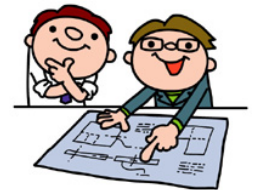
- ・ みんな研究室に来るので、活気があり、仲良くなれる。
- ・ 大学院生がいるので、何でも気軽に質問できる。
- ・ パソコンを頻繁に使うので、パソコンに強くなる。
- ・ 構造設計について、さまざまな知識が身に付く。



サグラダファミリアの内部

こんな学生が向いている（・・・と思われる）

- ・ 構造設計関係の職業に就きたい人。
- ・ 大学院に進学してゼネコン構造設計部や大手組織事務所への就職をめざす人。
- ・ 構造のことをよく知る意匠設計者・施工管理者になりたい人。
- ・ パソコンを使いこなして、計算が得意になりたい人。
- ・ 地道に努力する人。（技術は積み上げなので、努力なしに力は付かない。）
- ・ まあ、あとは、相性ですかね・・・？（それが一番大事なような気がします。）



## 研究室の学生の就職先

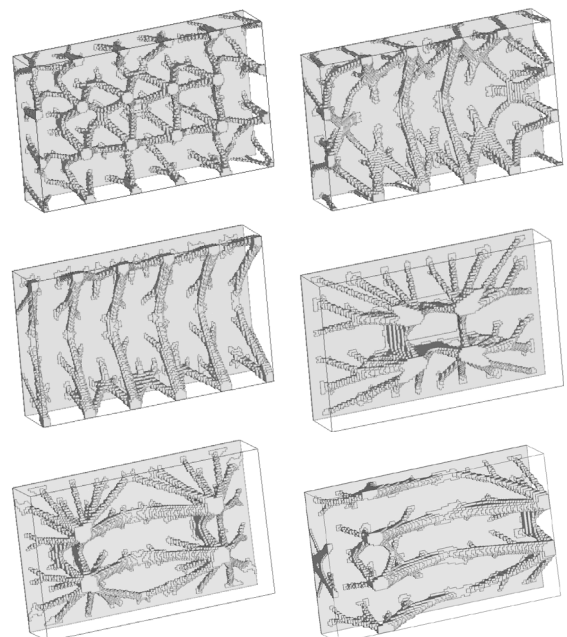
竹中工務店、清水建設、東急建設、フジタ、安藤ハザマ、大本組、増岡組等のゼネコンの構造設計部、地方・全国レベルの構造設計事務所、大学院、公務員、様々などところに行っています。卒業生の就職先は <https://archi.hiro.kindai.ac.jp/laboratory/SAL/students.html> を参照してください。

## 最近の主な研究

コンピュータを用いて

- ・ アントニ・ガウディのような建築構造を創生する
- ・ これまでにない家具のデザインを創生する
- ・ 大空間構造の新しい形態を創生する
- ・ 宇宙建築・版築建築を創生する
- ・ メタボリズム建築を創生する
- ・ 最適設計技術を構造設計に活用する
- ・ etc.

（裏ページに研究トピックス）



# 構造解析研究室の研究トピックス

## ■ コンピュータ解析で建築構造形態を創生



Fig.1 自然に溶け込む有機的構造形態

### <グランプリ賞・オーディエンス賞>



作品名：キノマルイス  
作者名：奥野 和希 渡部桃子

力学的アプローチによる、最も効率の良いスツールの脚として最適化された形態に新しさを感じる提案です。

「今まで見たことがあるようで無いような家具のデザイン」というコンセプトからもうかがい知れるように、新しい技術、考え方である一方で、現代のライフスタイルに溶け込む家具として提案されています。

トポロジー最適化による家具の前例は複数ありますが、技術だけが先行しない、使用されるシーンを考慮した形態に落とし込んでいる点が評価されました。

Fig.2 家具のデザインでグランプリ賞（製品化の可能性も！）



Fig.3 シェル構造の形態創生

詳しくは下記参照

<https://archi.hiro.kindai.ac.jp/laboratory/SAL/research.html>